

新型コロナワクチン 最新情報

※ 掲載内容は後から変更される場合があります

【詳細】 新型コロナウイルス感染症対策室 ☎ 385-8910

ワクチン接種は任意です

新型コロナワクチン接種には、努力義務が適用されています。努力義務とは、「予防接種を受けるよう努めなければならない」という予防接種法上の規定のことで、接種を強制するものではありません。

接種後に得られると期待される効果と、予想される副反応をよく考え、ワクチン接種をやるかどうかを決定してください。



ワクチンの接種期間

新型コロナワクチンの接種期間は、令和5年3月31日まで延長されました。

乳幼児(生後6か月～4歳)の接種券申請

乳幼児のコロナワクチン接種券を取得する場合は、接種券の発行申請が必要です。申請方法は市ホームページをご確認ください。



ワクチンの予約 / お問い合わせ先

■ インターネット予約

市のホームページ(右のQRコード)から予約してください。
※ アクセスが集中すると、つながりにくくなる場合があります。



■ 電話予約 / 予約のお問い合わせ

江別市新型コロナワクチンコールセンター
☎ 011-600-1234 (8:45 ~ 17:15)
※ 土日、祝日も受け付けています。

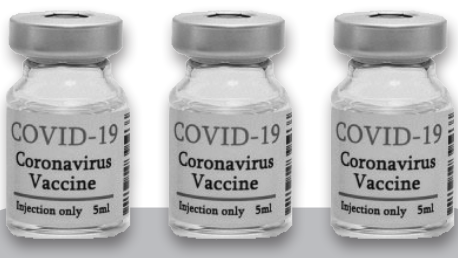
■ 副反応などに関するお問い合わせ

北海道専門相談ダイヤル
☎ 0120-306-154 (9:00 ~ 17:30)
※ 土日、祝日も受け付けています。

ワクチン接種は年内に!

これまでの2年間、年末年始に新型コロナウイルスが流行しています。

年末までに、新型コロナワクチンを接種できるようご検討ください。



【ワクチンの種別と接種間隔】

接種回数	接種間隔	
	ファイザー	モデルナ
1回目→2回目	3週間	4週間
2回目→3回目	3か月	
3回目→4回目		
4回目→5回目		

※小児用(5～11歳)ワクチンによる3回目は5か月間隔
※ノババックスによる3～5回目接種は6か月間隔

新型コロナウィルスワクチンの接種間隔が「5か月」から「3か月」へ短縮されました。接種券は、最終接種日から2か月半程度経過した頃に発送されていますので、接種券が届いた方は接種をご検討ください。

接種間隔が短縮されました



オミクロン株対応ワクチンについて

- ・オミクロン株対応ワクチンは、これまでの接種回数やBA.1株対応、BA.4-5株対応などの種類に関わらず、1回のみ接種となります
- ・オミクロン株対応ワクチンを接種するためには、年内に従来ワクチンによる初回接種(1・2回目接種)を終える必要があります。初回接種完了後、接種間隔を3か月あけてからオミクロン株対応ワクチンを接種することになります

すでにオミクロン株対応ワクチンを接種済みの方は、接種できませんのでご注意ください。



ノババックスワクチンの取扱変更

- ・11月8日から、1～5回目の接種で使用できるようになりました
- ・11月8日以降に、3～5回目接種でノババックスを接種した方は、それ以降オミクロン株対応ワクチンに関わらず、コロナワクチンの接種はできません
※令和5年4月1日以降のコロナワクチン接種は未定です

【小児・乳幼児 集団接種会場のご案内】

◎接種会場：保健センター

接種日	小児(5～11歳)	乳幼児(6か月～4歳)
	午前	午後
11月27日(日)	① ② ③	①
12月18日(日)	① ② ③	②
2月12日(日)	② ③	③
1月7日(土)	① ② ③	①
1月28日(土)	② ③	②
3月25日(土)	② ③	③

※①は1回目接種、②は2回目接種、③は3回目接種の予約ができます
11/27に1回目接種した方は、12/18に2回目接種となります
12/18に1回目接種した方は、1/7に2回目接種となります
※乳幼児は、3回接種(①～③)で1セットになります
【乳幼児の接種間隔】1回目→2回目:3週間、2回目→3回目:8週間

市立病院 連載コラム 経営再建の軌跡

市立病院では、令和3年3月に策定した「経営再建計画」に基づき、経営改善に取り組んでいます。本コラムでは、収益向上策や費用削減策、新たな取り組みなどを、隔月で連載します。**【詳細】** 市立病院経営改善担当 ☎ 382-5151

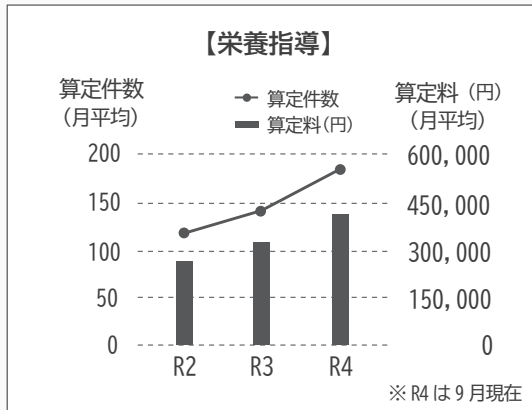
第4回 チーム医療

市立病院では、患者さまを中心に医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など、さまざまな職種の医療専門スタッフが、それぞれの専門性を活かしながら連携・協働して治療・ケアに当たる「チーム医療」に取り組んでいます。

例えば、入院患者さまへの栄養指導や薬剤管理指導などは、退院後の患者さまの「生活の質（QOL = Quality Of Life）」を高めることにもつながります。

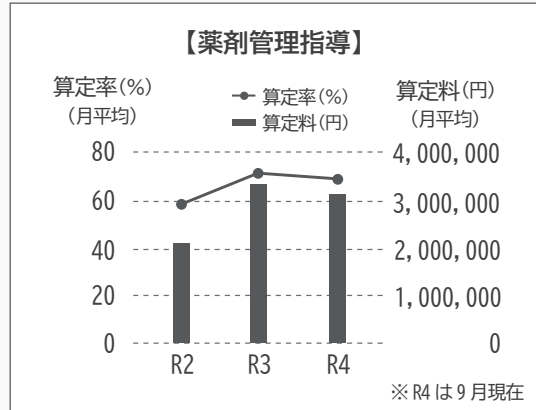
【栄養指導】

医師の指示のもと、生活習慣病の進行を防いだり、病気の治療・回復を助けたりするために、病態に合わせた食事相談や食事療法の提案を行っています。入院・通院中の患者さまが抱える、日ごろの食事に関する不安や負担が軽減されるよう、管理栄養士と一緒に考え、アドバイスします。



【薬剤管理指導】

医師の指示のもと、入院患者さまの薬歴管理と服薬指導を通じて、患者さま（またはご家族）の薬物療法への認識を高めてもらったり、患者さまから聞き取った情報を医師に伝えるなど、薬物療法を支援しています。特に、服薬を忘れてしまうことが多い方などに対しては重要な指導となります。



チーム医療は、医療の質を向上させるとともに、診療報酬の加算算定による経営の質を向上させることにもつながっています。

今後も、経営再建計画の達成に向け、引き続き改善への取り組みを進めてまいります。

広報えべつ 11月号の 内容に誤りがありました

記載の電話番号に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正します。

- ・ P10 「11月9日は、119番の日」
救急医療情報案内センター
正) 携帯電話から
011-221-8699
【詳細】 消防署管理課 ☎ 382-5453

- ・ P21 「えべつ市民健康づくり講演会」
申込先
正) 385-5252
【詳細】 保健センター ☎ 385-5252

ふだんの生活にプラス1 ここにもあるある！

協働のまちづくり

Part13

【詳細】 市民生活課 ☎ 381-1124

みんなで支えていく世の中へ

活動のお問い合わせ：江別認知症の人の家族を支える会（通称 かけはしの会）
☎・FAX 387-5657

「江別認知症の人の家族を支える会」では、介護家族を対象とした電話相談を行っています。ひとりで抱えていた悩みや苦勞、愚痴話を耳を傾け、心を軽く気持ちに余裕を持って介護ができるようにサポートしています。

年6回、介護家族の集いを開催し、日ごろの悩みや介護での体験、専門職の方のアドバイスなど、情報交換を通じてリフレッシュできる場を提供しています。

介護に苦勞されている方に少しでも「やすらぎ」を感じてもらえるよう、みんなで支えていく世の中を目指して活動を続けています。

